

令和4年度
六ツ美南部学区防災訓練
概要

2022（令和4）年11月13日

★防災委員・本部隊員による防災訓練の実施（案内）

1. 訓練日時：令和4年11月13日（日）8：00～11：00（整理整頓、清掃完了）
雨天決行（雨天時は屋内で工夫）
2. 集合時間・準備
 - ①8時までに小学校体育館裏手集合（校舎との間）、出席表に○印記入
 - ②各自準備品：軍手、マスク着用、体育館内用上履き、飲み物など
 - ③駐車場は小学校職員駐車場を利用
3. 訓練の段取り
 - ①委員長挨拶
 - ②防災倉庫や倉庫（A、B、C）などから必要物品の搬出（体育館横に仮置き）
 - ・A倉庫・・・机6
 - ・B倉庫・・・掲示板3
 - ・C倉庫・・・各班の収納ケース（防止、ベスト、筆記用具など）
案内表示、屋外テント2、発電機1、バルーンライト2
 - ・防災倉庫・・・避難所間仕切り用などのテント3種類各1、発電機1、
マンホールトイレ資材（テントなど）1、エアベッドは岡崎市から調達5
 - ・体育館・・・折りたたみ椅子10
 - ③各班別に訓練開始、他に必要品があれば各班にて搬出
 - ④訓練項目ごとに所要時間の計測（分単位）、開始と終了の掛け声
 - ⑤令和4年度購入品の、使用時の写真撮影
 - ⑥10時丁度に体育館裏に集合（訓練途中でも集合）、参加記念品、次回委員会案内配布
 - ⑦訓練終了後の片づけは随時行ってもよい。購入品は箱詰めの後C倉庫へ格納
 - ⑧11時丁度に施錠、点検、解散
4. まとめ
会議にて配布した用紙に、各班訓練の感想、意見などを記入し、11月20日までに提出。

★防災委員・本部隊員による防災訓練内容（計画）

1. 本部班・・・13名
 - ①各町からの火災など被害状況の把握（各町に依頼済み）、警防・救護班にて集計したものを活用
 - ・岡崎市防災対策本部電話番号・・・0564-23-6777
 - ②マンホールトイレの設置（和式1基、様式1基）
 - ・組み立て要領の習得（テント含む）
 - ・アンカー取り付け金具の確認
 - ・マンホールトイレ利用の注意事項表示
2. 警防・救護班・・・13名
 - ①避難所全体図の表示
 - ②学校内に案内表示（三角コーン、段ボール箱への案内表示）
 - ③炊き出し実施、方法についての検証
 - ・ハシヨリ、調理道具、ガス（燃料）調理場所・能力の確認
 - ④救護施設表示（応急手当）、保健室利用不可
 - ⑤救援物資室表示（保管、配布）
 - ⑥対応に必要な人員の検証
 - ⑦各町からの被害報告受付、集計（警防・救護班1名と本部班1名で対応）
3. 避難所班・・・21名
 - ①防災倉庫内の備品の確認と訓練に利用

- ②プライベートテントの設置 (2.4m角×高さ1.8m・2基)
- ③簡易式間仕切(段ボール)の設置
- ④エアーマットと毛布を設置
- ⑤教室への立ち入り(菜の花2病人部屋、要支援者家族居住区1-1~1-3教室)確認
- ⑥体育館内の区割り方法・手順の検証
- ⑦受付書類など準備(体育館出入口)

★防災委員・本部隊員による防災訓練実施(結果)

集合前: 全員受付 市民ホームから検温消毒器を借りポータブル電源につなぎ使用、出席○記入
 A倉庫から受付用机2、C倉庫から各班のケースを出しベストの準備(受付時に着用)
 ポータブル電源、同ソーラー、スマホ充電器、トリプルタップ、3種ケーブル接続し撮影
 段ボール箱2ヶ組み立て、残り8ヶと一緒に撮影、報告担当者記念品準備15個

1. 本部班・・・13名 (テント設置20分)

- ①各町からの火災等・被害状況の把握(各町に依頼済み) 警防・救護班にて集計したもの
 ・岡崎市防災対策本部電話番号・・・0564-23-6777(災害時以外不通)
- ②マンホールトイレの設置(和式1基・洋式1基)
 ハンマー3、ドライバー3、CRC556の撮影(40分)
 ・組み立て要領の習得(テント含む) テント設置:20分
 ・アンカー取付金具の取り付け確認
 ・マンホールトイレ利用の注意事項表示
 雨具、40個 1個着用し残り39個を持って撮影(雨天時は全員着用、残りを持って撮影)
 ポンチョタイプ、着用するとベストが見えない。

2. 警防・救護班・・・13名 (テント設置20分、骨組みが整理されていない)

- ①避難所全体図の表示
- ②学校内に案内表示(三角コーン、段ボール箱への案内表示)
 校庭にて、コーン、同ウェイト、コーンライト、サインボード各10ヶ準備・撮影、
 同時に収納プラケース2種5個、赤色灯(LEDバトン)5個、単2電池24個を撮影
- ③炊き出し実施、方法についての検証⇒ガス使用できず中止
 ・ハシヨリ、調理道具、ガス(燃料)調理場所・能力の確認
- ④救護施設表示(応急手当) 保健室利用不可
- ⑤救援物資室(場所)表示(保管、配布)
- ⑥対応に必要な人員の検証
- ⑦各町からの被害報告受付、集計(警救班1名、本部班1名の2名にて対応)本部班に報告
 7:55~9:30 正名新町報告なし

3. 避難所班・・・21名

- ①防災倉庫内の備品の確認と訓練に利用
- ②搬出: 受付書類(筆談、コミュニケーションボード含む)、プライベートテント、
 簡易式間仕切り、マンホールトイレ用テント1式
- ③受付設置と受付書類等確認、受付準備(体育館出入口)⇒書類確認のみ
- ④体育館内の区割り・ライン引き(半分区割り実施)
 ライン引き2種、巻き尺、メジャー、養生テープの撮影 ⇒50分
- ⑤エアーマットの設置(2組)空気入れにつなぎ、膨らんだものと前のもの、残り3ヶ撮影
 ⇒5分程度
- ⑥プライベートテントの設置(2.4m角×高さ1.8m・1基)
- ⑦簡易式間仕切(段ボール)の設置 ⇒間仕切りの組み立て収納実施、設置3分収納10分
- ⑧教室(避難部屋)への立ち入り(3F音楽室)区割り ⇒教室の確認のみ
 避難所班は計画と実際に実行した順序が異なる。今後は計画順序の再検討が必要

★防災委員・本部隊員による防災訓練の反省

1. 総評

1-1. 小学校との連携不足

- ・当初、訓練を予定日にできなかった。
- ・当日、関係のない団体が訓練予定地を集合場所にしていて、
- ・当日、午前11時から「子供会」が体育館の利用を予定していた。
- ・体育館以外の避難施設が連絡なしに変更になっていた。

1-2. 町内会との連絡

- ・形式的な施行でも実現できたことは評価できる。
- ・次年度以降は各町防ぎょ隊との同時施行が望ましい。

1-3. 市役所職員との連携

- ・市役所職員を招いたことは評価できる。
- ・職員への職務認識を高めると同時に、学区の防災意識レベルの周知が可能。

2. 組織運営（組織図に従った運営）

- ・各班のリーダーが不在で、組織上の班長が統制できるようになる必要がある。
- ・事前のリーダー研修が必要。

3. 避難所係の作業

3-1. 体育館の区割り

- ・予め施工図を用意するか、事前に区割りのポイントを用意しておく必要がある。
（区割りに時間がかかりすぎて、その間、他の係員が手持ちぶさたになる）
- ・区画テープは、低粘着性および色の変更。
- ・要所コーナーだけで区割りが可能になるように検討が必要
- ・避難所範囲と本部範囲の間にパーティションを設置して、掲示場所および作業エリアを確保

3-2. 特別教室

- ・当初の計画と異なるため、改めて収容可能な人数検証を実施する必要がある。

4. 今後について

- ・部分的な設営訓練から、計画全体の設営訓練を目指した問題点の検証が必要
- ・備蓄や収容人員などから、地震規模は最大「震度5強」レベル程度と考えられる。したがって、それ以上の地震規模（震度6弱以上）への対応検討が必要。
- ・各町内への分散避難、「市民ホーム」および「子どもの家」の活用検討
- ・学区全体のさらなる減災意識の向上。

★防災委員・本部隊員による防災訓練写真

1. 委員長挨拶・集合写真



2. 本部班



3. 警防・救護班



4. 避難所班



5. マンホールトイレ設置訓練（本部班）



6. 防寒アルミポンチョ



7. バルーンライト組み立て訓練（警防・救護班）



★家庭科室利用の炊き出し検証（警防・救護班）

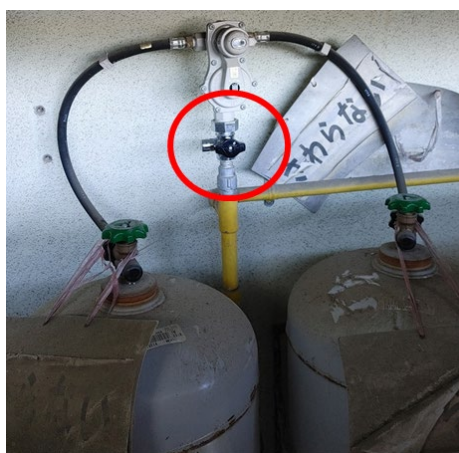
1. 家庭科室のカギを開ける



2. 家庭科室西側のプロパン庫のカギを開ける



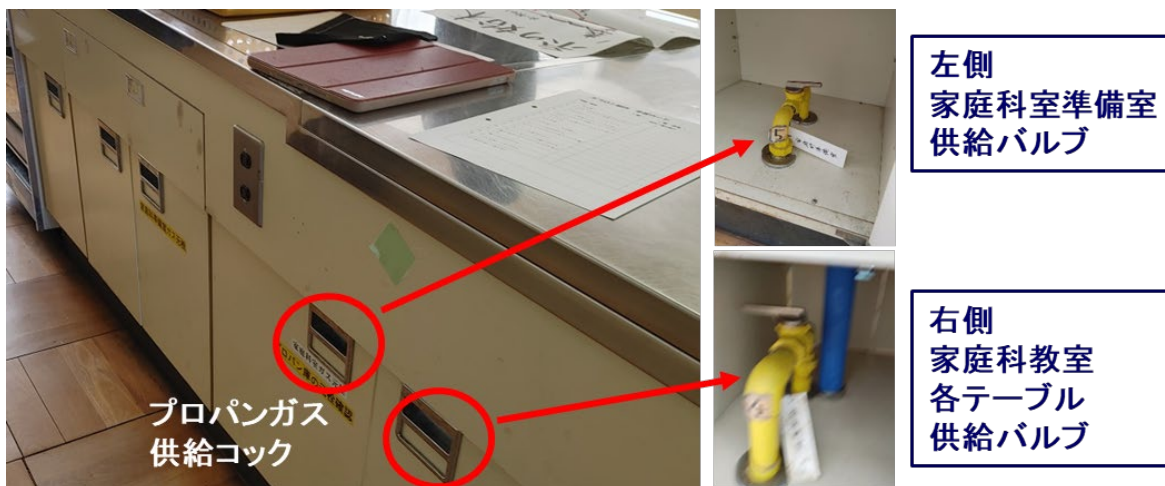
3. プロパンガス側のコックを開ける



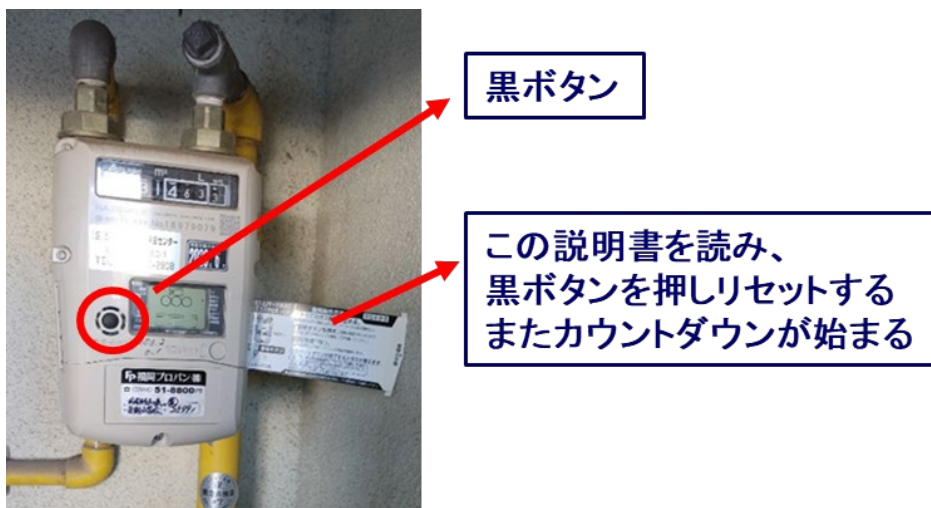
4. 教室側送りバルブコックを開ける



5. 家庭科室黑板側流し台引き出し扉内のガス供給バルブコックを開ける



6. ガス元栓を開いてもガスが供給されていないとき



7. 調理器具関連



家庭科準備室の棚
教室内の後ろ棚にも
鍋・やかん あり